

オープン・サイテーションってどのくらい進んでいるの？

本文の機械可読って・・・？大学図書館は何ができるの？

2021年度京都大学図書館機構講演会

オープンデータとしての学術論文

本講演会では、「オープンデータとしての学術論文」に向けて、学術論文の参考文献リスト、本文という要素に注目した機械可読性の実現についての取り組みを紹介します。

学術論文の参考文献リストのオープンデータ化、すなわちオープン・サイテーションについては、近年の動向を人文社会学系分野の文献での実践例とともに扱います。また、本文の機械可読性の実現の取り組みとして、ドイツ国立科学技術図書館が中心となって欧州で進められているOpen Research Knowledge Graphを扱います。

これらの講演によって、未来の学術情報流通像、そのために大学図書館ができることを考える機会としたいと思います。

受講料無料

通訳あり

申込者事前配信有

本講演会は、京都大学重点戦略アクションプラン「オープンアクセス推進事業」の活動の一環として開催致します。

日時

2022年2月15日（火）

13:00 - 17:00 ※オンライン開催

定員

300名（申込先着順）

対象

大学図書館職員、学術情報流通に関心のある研究者
および本講演テーマに関心のある方
（一般公開）

事前申込制締切

2022年2月14日（月）17:00

申込後、申込者限定で開催前に第1部と第2部の動画を配信した際に、事前質問の受付を行います。

可能な限り2022年2月3日（木）までにお申し込みください。

申込・プログラム詳細はこちら

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/bulletin/1392470>



プログラム

第1部：オープン・サイテーション

「OpenCitations: crossing one billion citations and beyond」

Silvio Peroni (I4OC共同設立者/ボローニャ大学)

「オープン・サイテーションの実践1：京都大学図書館機構における紀要論文のオープン・サイテーションに向けた取り組み」

西岡 千文 (京都大学附属図書館)

「オープン・サイテーションの実践2：Building the Humanities Citation Index (HuCI): why and how?」

Matteo Romanello (スイス連邦工科大学ローザンヌ校)

Giovanni Colavizza (アムステルダム大学)

Silvio Peroni (I4OC共同設立者/ボローニャ大学)

第2部：Open Research Knowledge Graph (ORKG)

「Introduction to the Open Research Knowledge Graph」

Lars Vogt、Sören Auer、Allard Oelen、Vitalis Wiens

(ドイツ国立科学技術図書館)

「What can University Libraries do for Open Research Knowledge Graph?」

Sören Auer (ドイツ国立科学技術図書館)

第3部：質疑応答、ディスカッション

(※逐次通訳付き・当日配信のみ)

Sören Auer (ドイツ国立科学技術図書館)

Giovanni Colavizza (アムステルダム大学)

Silvio Peroni (I4OC共同設立者/ボローニャ大学)

Matteo Romanello (スイス連邦工科大学ローザンヌ校)

西岡 千文 (京都大学附属図書館)

※第1部・第2部の動画は、講演会終了後は京都大学OCWで公開予定です。

主催：京都大学図書館機構

問合せ先：京都大学附属図書館図書館企画課 mail: kenshu-uke660kulib@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp